

平成27年度学長裁量経費研究推進支援プロジェクト研究成果報告書

1. 研究の概要

プロジェクト名	児童画における指導方法の体系化に関する基礎調査		
プロジェクト期間	平成27年6月－平成28年3月		
申請代表者 (所属講座等)	加藤 隆之 (美術教育講座)	共同研究者 (所属講座等)	なし
取組方法・取組実績の概要	<p>本プロジェクトでは、現状の描画指導内容の調査と指導法の資料収集をおこなうことが目的である。研究は、文献による指導法の資料収集と児童画展にまつわる描画指導の課題調査、そして児童画展の審査会場や展覧会場での現地作品調査をおこなった。児童画展の審査会への参加にあたっては、宗像地区図画工作科教育研究会に協力体制をとった。</p>		
研究成果の概要	<p>研究の成果と結論として、制作の過程の充実を求めるのか、もしくは結果としての作品の完成度を求めるのかという二つの方向性の違いが、指導内容に大きく影響していることが明らかとなった。そして完成作品に審査・褒賞を課すか否かの過程が、教員の指導内容にも大きく影響することが分かった。</p> <p>審査・褒賞を課す児童画展と課さない東京都の学校展の作品傾向の比較をおこなった。児童画展では、慣例的な作風の指導や〇〇式指導法が主流となり、教師主導となる完成作品重視型の作品が多く出品されていた。一方で、学校展では試行錯誤型の作品を展示して、授業の様子を感じ取れる作品内容であった。図画工作科の教科としての目的を尊重しながら、子どもに発想力や造形力を身に着けさせるためには、制作の過程を重視する試行錯誤型の授業が理想であることが確認できた。</p> <p>研究の成果は、教員養成課程における図画工作科の授業に反映して、教育現場での図画指導力の向上に反映させたい。</p> <p>今後は、児童画に対する固定観念をほぐしながら試行錯誤型の題材の構築と、それを実践するための研究体制づくりに取り組みたい。</p>		
外部資金獲得申請及び研究成果の公表方法等について [<input type="checkbox"/> (該当事項) にチェック方願います。]			
外部資金獲得申請 (予定)	<input checked="" type="checkbox"/> 科学研究費補助金 <input type="checkbox"/> 受託研究費 <input type="checkbox"/> その他 ()	研究成果の公表方法 (予定)	<input checked="" type="checkbox"/> 学会 (国内・国外): <input type="checkbox"/> 新聞・図書・雑誌論文等: <input type="checkbox"/> その他: